



材料を言い値で
購入することに疑問を持つ

5年ほど前から、材料のマイクロフィルム関連資材を、大手企業の「言い値」で購入していることに、疑問を感じはじめた。しかも、ここ数年は不況のあおりを受け、市場は悪化、デジタル化も競争が激しく、顧客の価格の維持すら難しい状況になっている。それにもかかわらず、いつこうに低価格化は進まない。「悩んでいても解決しない」と森松社長は行動を始める。

独自に市場調査したところ、海外では「日本で考えられない低価格で売られている関連資材等がたくさんあること」などを知り、新たな購入ルートを開拓。さらに国内では、

同業者にマイクロ写真関連機材資材を

低価格で提供

㈱国際マイクロ写真工業社 社長 **森松義喬**

新宿区笹笥町(タンスチヨウ・江戸時代にはタンス職人がたくさん住んでいたとか)にある㈱国際マイクロ写真工業社は昭和37年創業。現在では、宮内庁御用達の会社として、書陵部所蔵の国宝級史料のマイクロフィルム化・デジタル化・CD化をはじめ、建設省、通産省、埼玉県・千葉県等の文書館などの中央・地方官公庁、および民間の図面や台帳等の情報入力、加工業者として高い技術力でファイリングのアウトソーシングサービスを展開している。

父親で創業社長、幹雄さんの病気を機に、実質的社長に就任したのが当時25歳の森松義喬社長さん。現在36歳の若手社長。



インターネットを使って見つけ出した工場に直接出向いて、もつと安値で高品質な製品づくり」を談判するなど、製品のラインナップを拡大。同業者からも「ディスプレイカウント販売」を勧められたこともあり、平成十年九月、同業者へマイクロ写真関連機材を低価格で販売・提供するために「KMS資材販売部」を発足させた。

純利益10%増加させることが至難の時代に、材料費を10%〜35%軽減・提供

森松社長は「不適正に、価格破壊を行うのではありません。これで当社が大きくなることも考えていません。自分達業界が、極めて厳しいこの時代を生き残るために、良い機材を求めやすい価格で販売・提供するので」「現在、売上高はもとより、純利益を10%増加させることは、どこの会社でも至難の業ですが、材料費を10%〜35%軽減できるのがKMS資材販売部なんです」「いろいろ噂を流されたり、圧力がありますが、私どもは良心的な価格で、マイクロ写真関連機材を正々

堂々と日本中にコツコツ販売していきたい」と全社を挙げて取り組んでいる。

自社ホームページ開設

2年前に同社ホームページ(<http://www.kms.gol.com/>)を開設。資材販売と参考文献のコーナーを設置している。「日本一充実したものにしていきたい」と意気軒昂。(文責 北村康生)

